【活動状況　令和８年第１号】

（一社）京都府防犯設備協会主催　防犯技術研修会について

令和７年 11 月 25 日、京都市南区においてＫＢＣＳ参画団体である一般社団法人京都府防犯設備協会主催の防犯技術研修会が開催されました。

本研修会では４つの講演が実施されました。

【講演１】

演題：サイバー犯罪の現状と対策

（ランサムウェア感染デモンストレーションを含む）

講師：京都府警察サイバー対策本部サイバー企画課

（デモンストレーション担当：近畿管区警察局京都府情報通信部情報技術解析課）

サイバー犯罪にかかる最新の手口と対策について、実例とランサムウェア感染デモンストレーションとともにご紹介しました。

【講演２】

演題：サイバー対策サービスの現状とご紹介

講師：ＮＴＴ西日本京都支店　ビジネス営業部　本部長　櫻中　茂雄氏

　サイバー攻撃によって情報資産が流出した際の事業継続の困難性について実例を挙げて解説した上で、サイバー攻撃に対抗する取組の可視化、セキュリティ対策制度、同社が提供するサービスについて紹介されました。

【講演３】
　演題：入退室管理システムの重要性
　講師：パナソニック株式会社　様

入退室管理システムの動向、生体認証・二次元コード認証、エレベータ先行予約、ワークプレイス向けサービス、設備としての入退室管理システムについて講演されました。

【講演４】
演題：サイバー対策と物理防犯について
講師：京都府防犯設備協会サイバー対策委員長　小林　道治氏

一連の講演を踏まえ、最終講演では「サイバー対策と物理防犯について」として、現状物理防犯対策とサイバー対策は元々の業界や担当部署が違い、別々に対策されるケースが多く見受けられるが、今後は双方の対策が連携した総合的な対策が必須であり、防犯設備士として「隙のない全体最適な防犯コンサルティング」が不可欠であることを強調されました。

この研修会を通じて、

- 最新の脅威事例や対策が分かりやすく有意義だった
- 実際のデモで脅威を実感できた
- 体感しながら理解できた点が良かった
- 脅威が身近にあることを実感した
- 『桶の理論』で総合的な対策の重要性を理解できた

- サプライチェーン対策制度や NIST CSF の学びが得られた
- 今後は一般参加者も参加できる取り組みに発展させたい

等の感想が得られました。

［セミナー講師派遣ページについて］
当ホームページでは、セミナーなどへの講師派遣依頼も受け付けております。
情報セキュリティに関するセミナー開催等をご検討中の方は、ぜひご活用ください。

▽講師派遣に関する詳細▽
https://www.ksisnet.kyoto/executive/dispatch